

笑顔の和

岐阜市立岐北中学校 3年
國島 菜稀（くにしま なつき）

みなさんにとって「幸せ」とは何ですか。考え出したら止まりませんよね。大切な人とずっと一緒にいられることや、お金が沢山手に入って裕福に暮らすこと、世界がずっと平和であることなどがあると思います。私の中の幸せは、「みんなが楽しく笑顔で生きられること」です。

私は習い事としてチアをやっています。「チア」と聞くと「笑顔が可愛い」、「素敵だ」というイメージを持つ方が多いと思います。でも、私は初めから笑顔で明るくパフォーマンスが出来ていたわけではありませんでした。

チアは主に、見ている人を応援したり、見ている人を元気にさせたり、笑顔にさせたりするパフォーマンスです。私の所属しているチームでは、主にサッカーの試合の応援や地域のイベントなどに出演させて頂いています。

「楽しそう」だと思って入ったチアも、初めはなかなか上手くいきませんでした。当時の私は、自分に自信が無くてすぐに下を向いて踊ったり、笑顔がひきつってしまうことが多くありました。やる気一杯で入ったけれど、うまくいかないことが続くと、やる気も徐々に下がっていきました。

私はふと思いました。「チアでは笑顔を作るのが苦手なのに、お笑い芸人さんのネタでは自然と腹を抱えて笑ってしまう。この笑顔の差は何なのだろうか。」と。私は父の影響で、お笑いが大好きで、好きなネタは覚えてしまうぐらい何度も見てしまいます。お笑いでは自然と笑顔があふれ出るのに、チアではどうして。私は考えました。そして、あることに気がつきました。

「楽しい」という気持ちから自然と笑顔があふれ出るのだと。私は早く笑顔が作れるようにならなければいけないと焦り、チアを「楽しむ」という根本的なことを忘れていました。そもそも笑顔をつくるという考え方が間違っていたのです。笑顔は楽しい時に自然とあふれ出るものなのです。まずは、チアを楽しむ自分にならなければいけないと思いました。

ある日、とある地域のイベントに出演しました。今日は地域の方だけでなく、自分自身も全力で楽しんでみることを意識してみました。パフォーマンスが終わった後に、おばあさんが、「元気やね。あんたら見ると、こっちまで元気になるわ。ありがとう。」と声をかけてくださいました。私は、その瞬間に「やっとうまくいった。」「笑顔」は見ている方を和やかにする魔法と思い、とても嬉しい気持ちになりました。そして、笑顔がどれだけ大切かを学びました。

それからの私は、踊りがもっと上手になりたいと思うようになり、家でも練習しました。その結果、良いポジションにつけるようになり、さらに自分に自信が付き、チアが心から楽しいと思えるようになりました。そして、チアを通して、お客さんの前でパフォーマンスをして人を笑顔にさせたり、元気づけることが、こんなにも楽しいんだということを実感することができました。

私は、将来、看護師になりたいと思っています。なぜなら、患者さんを助けることで患者さんもその家族の方もそして、周りの人も笑顔にする仕事だからです。「白衣の天使」と看護師はよく言われます。確かに看護師の笑顔やサポートで患者さんが安心したり、笑顔になったりしますよね。でも、今コロナの関係で看護師はとても大変です。人手が足りずに休日がほとんど無かったりもします。そんな状況の中で、「本当になりたいって言えるの?」と周りの人からも言われました。でも私は目の前の患者さんを助けるために、精一杯努力する姿、どれだけ大変でも、患者さんに笑顔で接したり、寄り添ったりする姿を尊敬しています。そして、人を笑顔にさせることの「楽しさ」を学んだ自分だからこそ、今の自分を一番活かすことができる職業だと思っています。

「笑顔」は、元気を与えたり、見ている人を和やかにする心の薬です。この先、嫌なことや辛いことがあっても、笑ってみませんか。きっと晴れやかな気分になっていきます。そして何事にも楽しんでみませんか。そうすると自然と笑顔があふれ出てくるでしょう。私たちそれぞれが、少しでも笑ったり楽しんでみるだけで「笑顔の輪」はどんどん広がります。そして私の中の幸せでもある、「みんなが楽しく笑顔で生きられること」につながっていきます。